

認知症の人と家族の会愛媛支部の中予地区「つどい」は毎月第2月曜日午後1時～3時、場所は松山市末町甲9-1「愛媛県在宅介護研修センター」で行っています。他にも東予地区4カ所、南予地区で2カ所あります。電話相談も月一金午前10時から午後4時でしています。電話番号は、089-923-3760です。

認知症と家族の会のつどいに関しては、上記相談電話にお問い合わせください。



認知症疾患医療センターの活動

砥部病院認知症疾患医療センターでは、当院西隣介護付有料老人ホームTo-be1階「タヤけこやけ」で毎週金曜日午後1時半から2時半認知症カフェ「オレンジカフェ」を開催しています。第1金曜日は、ウクレレカフェ、第4金曜日は、家族のつどいをしています。第2水曜日に同じ場所、同じ時間で、若年性認知症の方対象で当事者カフェ「おれんじドア えひめ(べにまどんな)」を開催しています。恐れ入りますが、利用希望時はお電話をください。利用ご希望がない折は閉店しています。

令和5年11月は、9日に久万高原町で認知症カフェがあり、中城センター長と中平相談員が、講演と体操などをしました。15日は、認知症ネットワークがあり、連携を考えるテーマで、中城センター長と居宅介護相談所おかだ組、デイサービスTo-be、訪問看護ステーションコミュニティナースinえひめをつないで、事例紹介をしました。12月は、中平相談員が伊予市認知症予防事業で講演をする予定です。

さて今回も2月16日中城有喜センター長が講演したHITO病院にて、IHGみかんの会主催「認知症になっても住みやすいまち、地域で寄り添うこと」参加者の方からの質問に対する中城センター長の回答を紹介します。



Q10.認知症になったら、家族の顔もわからなくなるのですか？

A10.面会に来られたご家族が認知症の方に「わたし誰かわかる？」と聞く場面を時々目撃します。ご家族としては自分のことを忘れられることをとても恐れていることが分かります。

人の顔が認識できないことを相貌失認と言いますが、脳のある部分が障害されるとそういう症状が出現することがあります。認知症が進行すると相貌失認に及ぶこともあります。認知症の人は認知機能が低下する分、五感を最大限働かせてコミュニケーションを取ろうとします。顔や名前がわからなくなっても、自分にとって大切な存在の人であるということは最期まで感じているように思います。終末期を迎えた方にご家族が面会に来ることで、状態が持ち直すことをよく経験します。当たり前のことですが、家族の存在の大きさを感じます。

さて、今回で回答は終わりです。皆さまの参考になりましたでしょうか？



砥部病院面会について

相談員に面会予約・ご相談をお願い致します。
検温、感染対策の上、ご面会ください。感染状況や患者様の体調により、突然ご面会をお断りすることもございます。ご了承ください。
みなさまもどうぞ体調にご留意いただき、ご協力をお願い致します。



高齢者こころのケアセンター(認知症病棟)の近況

11月は、実りの秋を満喫で、さつまいも、柿を収穫し、焼き芋、干し柿作りをしました。先月の運動会の様子とともに写真でご紹介します。



運動会の様子です。プログラムを習字で書いて頂き、掲示して、順番に紅白に分かれて、グループ対抗戦をしました。両グループとも白熱して、接戦でした。



焼き芋、干し柿作りの様子です。さすが、柿も手慣れた手つきで皮を剥いていました。焼き芋の様子は、テレビ愛媛「ますあつ」でも紹介されました。



くまのつぶやき



早くも12月となりました。稲藁で、しめ飾り作りをしました。お正月準備に寒さも飛びます。

砥部病院高齢者こころのケアセンター相談室 (文責 武田)

相談員：青木(176)・中平(512)・武田(516)
お気づきの点がありましたら、ご連絡ください

